

令和7年度SD活動研修会報告

1 令和7年度 新任教職員研修会

第1部

日 時 令和7年4月3日(木) 9:30～12:30
場 所 スタジオ型講義室(徳島C)
対 象 徳島C・高松駅C・学園本部に勤務の新任者・昇任者
参加者数 徳島C(21名), 高松駅C(15名)
内 容



- (1) 学長あいさつ
- (2) 組織及び服務等について (学園本部総務部長)
- (3) 給与・物品購入申請・出張申請・研究費等について (学園本部経理部長)
- (4) 学則・行事予定・カリキュラム等について (徳島C教務部長)
- (5) FD・自己点検・自己評価について (徳島C教育研究支援課長)
- (6) 学生生活支援・奨学金制度について (徳島C学生部長)
- (7) キャリア・就職支援について (徳島C就職支援部長)
- (8) 学生募集について (入試広報部長)
- (9) 図書館の利用について (徳島C附属図書館長)
- (10) 防災・ハラスメント防止・保護者会等について (徳島C総務部長)
- (11) アカサス会について (アカサス事務局)
- (12) その他

第2部

日 時 令和7年4月3日(木) 13:30～17:00
場 所 マルチメディア室(徳島C)
対 象 徳島C・高松駅C・学園本部に勤務の新任者
参加者数 徳島C(21名), 高松駅C(15名)
内 容



- (1) 学内システムについて (情報センター他)
 - ・セキュリティ対策について
 - ・本学のシステムについて
 - ・ポータルサイトについて
 - ・各種申請について
 - ・Googleクラスルーム実習

2 令和7年度 防火・防災管理委員会及び自衛消防隊等合同研修会

趣 旨

- (1) 防火・防災意識の向上をはかる。
- (2) 安心・安全体制につなげる。
- (3) 防火・防災管理委員会、自衛消防隊に属する教職員が役割を再確認することで、災害時における対応力を高め、学生等の命を守る役割を果たす行動につなげる。

日 時 令和7年8月7日(木) 9:30～12:00
場 所 アカサスホール他

対 象 徳島Cの防火・防災管理委員会委員及び自衛消防隊員、学生防災委員



方 法 対面形式で講演会を行った後、3班に分かれて各防災体験を実施
 講演 「防災について」(約30分)
 講師 徳島市東消防署 鈴田 晃史 氏
 講 義 内容

訓練 1	訓練 2	訓練 3
AED 訓練	屋内消火栓操作訓練	救出救護訓練

3 令和7年度 徳島文理大学ハラスメント防止委員・相談員合同研修会

日 時 令和7年8月5日(火) 13:30～

場 所 徳島C 3号館10階 共同研究室

高松駅C 東棟3階 応接会議室

*TV会議システムを利用して実施

対 象 徳島C(33名), 高松駅C(23名)

日 程 (1) 開 会

(2) 委員長選出, 委員長挨拶

(3) 副委員長選出(徳島C・高松駅C)

(4) 新任委員・相談員自己紹介

(5) 規程・ハラスメント防止対策ガイドライン・相談の流れ

(6) 報 告

(7) 研修会 演 題 「大学におけるハラスメント」

講 師 高松駅C 学生相談室カウンセラー 星川 賀奈 氏

(8) その他

(9) 閉 会



4 令和7年度 徳島キャンパス 全学防災訓練

目 的

(1) 学生及び教職員の防災意識の向上を図る。

(2) 南海トラフ巨大地震に備え、安全に素早く身を守る行動ができるようにする。

(3) 安否確認フォームによる学生・教職員の安否情報収集訓練をおこなう。

日 時 令和7年11月5日(水) 15:30～16:00(4時限目)

内 容 シェイクアウト: 緊急地震速報発令後, 身の安全を確保

安否報告 : 安否確認フォームに安否を入力

講話 : 徳島市東消防署からの講話

対 象 徳島Cの全教職員, 全学生

連 絡 教職員には「教職員グループウェア」,

学生には「学生ポータルサイト」で案内



5 令和7年度 高松駅キャンパス 防災訓練

目 的

学生及び教職員の防災意識および地震・火災等への防災対応能力の向上をめざし, 近い将来発生の可能性が高い南海トラフ地震に備え, 実践的な安全確保行動及び安否連絡訓練等を行う。

特に, 高松駅キャンパスでの最初の訓練であることから, 避難時の人流の観察と地区隊の活動拠点への移動経路の確認を行い, 人員配置を含む避難誘導体制の確立を図る。

日 時

令和7年11月5日(水) 16:10～16:40 (4・5講時授業に組み込んで)

内 容 (香川県シェイクアウト プラスワン訓練)

(1) 安全確保行動「安全行動の1-2-3」

「DROP! (まず低く)」⇒「COVER! (頭を守り)」⇒「HOLD ON! (動かない)」

(2) プラスワン訓練

i) 避難訓練 (非常口・避難経路の確認, 適宜誘導)

ii) 安否連絡の実施と集約 (点呼・人数確認を兼ねる)

iii) 教職員事前研修・調査 (令和7年10月21日)

①役割分担の再確認 ②安否連絡システムサイトの確認

(3) 総括・講評

防災訓練の流れ

16:10 緊急地震速報, 地震への対応を放送で指示

16:13 放送で避難指示

16:18 各棟から避難終了

16:20 安否連絡の実施

16:23 自衛消防隊長総括・講評, 安否連絡集約数発表

16:40 防災訓練終了



6 令和7年度 全学SD研修会

日 時 令和8年1月27日(火) 13:00～14:30

場 所 徳島C アカサスホール
高松駅C ムラサキキネンホール

方 法 講師を徳島Cに招き, 高松駅Cはオンライン形式

演 題 「地域と連携した日本文理大学の取り組み

ー学生が育ち地域に必要とされる地方私立大学を目指してー」

講 師 日本文理大学 副学長

吉村 充功 氏

対 象 徳島C・高松駅C・学園本部の全教職員



7 令和7年度 人権・ハラスメント講演会

日 時 令和8年2月17日(火) 13:00～14:30

場 所 徳島C アカサスホール
高松駅C ムラサキキネンホール

方 法 講師を徳島Cに招き, 高松駅Cはオンライン形式

演 題 「大学のハラスメント防止対策とケーススタディ」

講 師 東京都立大学 教務課長兼開設準備担当課長

宮林 常崇 氏

対 象 徳島C・高松駅C・学園本部の全教職員

